



みんなで備えて、安全・安心な空の旅を！



運輸安全委員会の前身である航空事故調査委員会が発足してから、約1,500件の航空事故等調査報告書を公表していますが、このうち14件で脱出スライドを使った非常脱出が行われており、うち13件で乗客が負傷しています。

このような状況で、脱出スライドを使用した非常脱出が行われます。

- 火災や煙の発生
 - 燃料等の漏洩
 - 機体の著しい損傷
 - 着水時の浸水
- など緊急時

過去の非常脱出では、このような状況で負傷されています。

- 脱出スライドの終端から飛び出すように着地し腰から落ちた
- 滑る際、スピードがついていたので身体がはじき飛ばされた
- 後続の乗客に前へ突き飛ばされた
- 他人の持って降りたスーツケースに接触した など

非常脱出する際には注意点があります！

乗務員の指示に従って脱出を開始してください。

- ❗ 手荷物は持ち出さない！
- ❗ ハイヒールなど脱出スライドを傷つけるものは身につけない！
- ❗ 脱出スライドを滑る際は、着地点が見えるように上体を起こす！
- ❗ 機内が煙で充満しているときは、低姿勢で！

脱出の援助者としてご協力を！

非常口座席に座る際や、客室乗務員から直接依頼があった場合には脱出の援助に協力して下さい。

- ❗ 脱出スライド下で、降りてくる乗客を引き起こして下さい。
- ❗ 降りてきた乗客を出来るだけ機体から離して下さい。
- ❗ その他、非常口ドアの開放など別途依頼にご協力ください。

旅に出る
“もしも”の事があるかもしれない…

さわがず、落ち着いて
非常脱出時に、乗務員（パイロット、CA）の指示に従いましょう。

てぶらで
機体がシヤマになり、逃げ遅れます。脱出スライドが破けることがあります。

と、ヒョキ
脱出スライドが破け、使えなくなります。

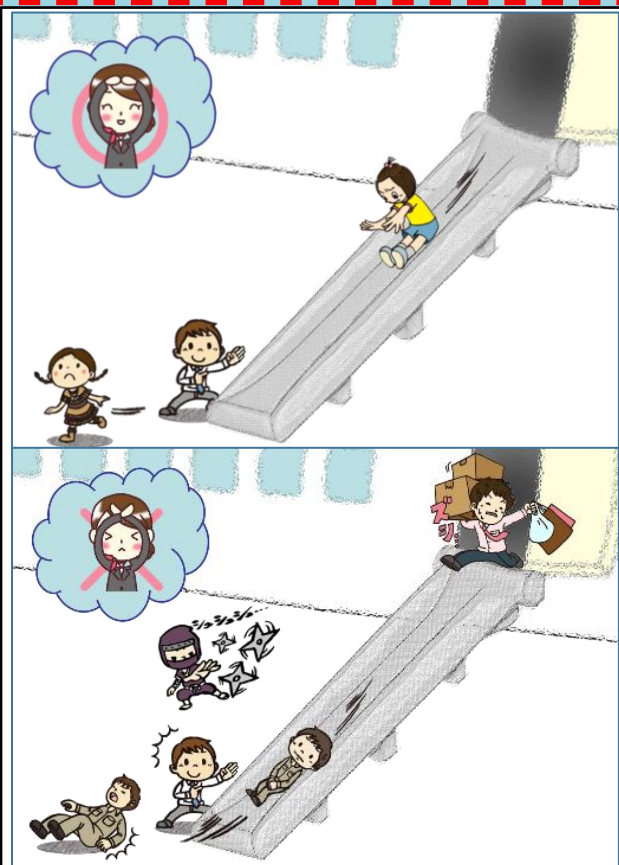
この準備を忘れずに！

ヒョキ
ハイヒールも、とがってまずよ。

の字ですべる
“ゴ”の字になるよう、両手を前に出し前傾姿勢ですべると、着地点が良く見えます。

体から離れて
機体が爆発するかもしれません。早く離れましょう。

る直前にふくらます
脱出のシヤマにならないよう、後続の乗客と出っかけて離れます。



脱出スライドは、緊急時に迅速に避難するための重要なものです。手荷物などにより他の搭乗者が負傷する危険があるほか、脱出スライドが損傷した場合、脱出ができなくなることもあるため、「手荷物は持ち出さない」など、非常脱出時には守らなければならない注意点があります。

飛行機に搭乗したら、まず、席に備え付けられた安全のしおりや安全ビデオ／客室乗務員によるデモンストレーションをよく見て、万が一の時の備えをお願いします。また、援助者としての協力もよろしくをお願いします。搭乗者全員の生命を守るためご理解いただき、適切な行動をよろしくお願いします。

* 事故等事例の概要は、

「運輸安全委員会ダイジェスト26号」をごらん下さい。

http://www.mlit.go.jp/jtsb/bunseki-kankoubutu/jtsbdigests/jtsbdigests_No26.html

